



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

新年度のスタート

本日、第1学期始業式が行われました。一人一人が進級し、新たな1年の始まりです。子供たちは、新しい出会いにわくわくする気持ちとともに、ドキドキする気持ちを抱えて登校してきたことと思います。子供たちは、常に前を向いて進んでいこうとするエネルギーに満ちあふれていて、素晴らしい存在だと思います。

さて、子供たちのより良い成長を願い、始業式では、次の詩を紹介して、今年度は、「言葉を大切にしていこう1年間にすること」について話しました。

一つの言葉

一つの言葉で けんかして
一つの言葉で 仲直り
一つの言葉で 頭が下がり
一つの言葉で 笑い合い
一つの言葉で 泣かされる
一つの言葉は それぞれに
一つの心をもっている
きれいな言葉は きれいな心
優しい言葉は 優しい心
一つの言葉を大切に
一つの言葉を美しく

この「一つの言葉」の作者は、北原白秋という説や谷川俊太郎という説もあり、はっきりしていないそうです。作者不詳ではありますが、言葉の大切さが端的に表されている素晴らしい詩だと思い、子供たちに紹介しました。

自分が言われて嬉しい言葉は何か、自分

が言われて嫌な言葉は何か、自分の頭でよく考えて言葉を使うこと、「ありがとう」「大丈夫だよ」「がんばれ」「どんまい」「応援しているよ」等、「温かな言葉、美しい言葉、優しい言葉を大切に、みんなが笑顔になる学校に」を合言葉に、1年間過ごしていきますと話しました。

詩の中にもあるように、言葉には心が表れます。いつも心が満たされていれば、良い言葉が自然と出てくるのだらうと思います。しかし、私たちは、日々起こる出来事に対して、様々な感情がうまれてきます。人は完璧ではありませんし、弱さを抱えているが故、いつも穏やかな気持ちでいられるわけではありません。だからこそ、「言葉を大切にしていこう」と自分で決めることで、感情に流されることなく、より良く生きていくことができるのではないかと思います。また、自分一人ではできないことも、つながりの中で、お互いに良い言葉をかけ合い、伝え合うことで、自分の心も、周囲の人の心も、温かさや優しさで包まれていくのではないのでしょうか。そうすれば、言葉もきっとより良いものになっていくのではないかと考えます。

温かな言葉、優しい言葉、美しい言葉については、ぜひ御家庭でも子供たちと話題にしていいただき、みんなでより良い言葉を使うことができるように御協力いただきますようお願いいたします。

本日の着任式では、新たな教職員を紹介し、新体制でのスタートをきりました。今年度も、保護者の皆様や地域の皆様のお力いただきながら、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。